

1997.10.5

国際音楽の日
祝 フィンランド建国80周年

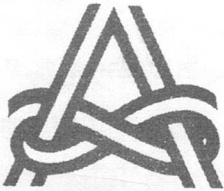
平成9年市川市文化祭
第263回 市響

クオピオ市立管弦楽団協演

合唱の集い

1997

10月5日(日) 2時開演
市川市文化会館大ホール



芸術文化振興基金助成事業

主催 市川市教育委員会 市川交響楽団協会
協賛 日本芸術文化振興会 三井海上文化財団
後援 文化庁 千葉県教育委員会 千葉県文化振興財団
市川市文化会館 千葉交響楽団協会

2.01.7991

プログラム

交響曲 第7番 ハ長調 作品105ヤン・シベリウス 作曲
 指揮 三原明人
 管弦楽 クオピオ市立管弦楽団

交響詩 「フィンランディア」作品26ヤン・シベリウス 作曲

オラトリオ「メサイア」よりG.F.ヘンデル 作曲

- 第4番 And the glory of the Lord 主エホバの栄光は
- 第17番 Glory to God 栄光は高き主にあれや
- 第22番 Be hold the Lamb of God 視よ神の小羊
- 第33番 Lift up your heads, 門の戸あがれや
- 第44番 Hallelujah ハレルヤ

指揮 アッツォ・アルミラ
 管弦楽 クオピオ市立管弦楽団
 オルガン 深井李々子
 合唱 市川混声合唱団
 行徳混声合唱団
 コール・シュティムメ
 津田沼混声合唱団有志

—— 休 憩 ——

交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付き」ベートーヴェン 作曲

指揮 三原明人
 管弦楽 クオピオ市立管弦楽団
 ソプラノ 岡部千栄子
 アルト 野村陽子
 テノール ヨルマ・シルヴァステイ
 バス イルッカ・ヴィハヴァイネン
 合唱 市川混声合唱団
 行徳混声合唱団
 コール・シュティムメ
 津田沼混声合唱団有志
 「市川・第九」市民合唱団有志

プロフィール

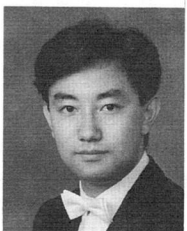


指揮 アツォ・アルミラ ATSO ALMILA

クオピオ市立管弦楽団常任指揮者。フィンランド、シベリウス音大指揮科にて、ヨルマ・パスラ氏に師事。合唱指揮をハラルド・アンダーソン氏に師事。1979年に卒業。

1981年、スウェーデン、ノールショピングで行われた北欧指揮者コンクールにおいて、第1位をユカ・ベッカ・サラステと共に受賞。1977～81年、シベリウス音大室内楽合唱団、カンテムスの指揮者として活躍。1982～87年、および1990～95年、ヘルシンキ国立歌劇場の指揮者を務める。1993年よりヨエンスー市立オーケストラ、1995年よりクオピオ市立管弦楽団の常任指揮者を務める。スウェーデン、エストニアに多く客演。シベリウス音大オーケストラとギリシャに遠征。国内では、ヘルシンキ国立歌劇場を始め、ヴァーサ市、タンペレ市等のオペラも多く指揮する。

作曲家としても多くの室内楽、ミュージカル、オペラを作曲しており、中でもオペラ「30粒の真珠のお金」「アメリカ」は、注目を受けた。



指揮 三原 明人 (みはら あきひと)

東京芸術大学でヴァイオラを浅妻文樹、兎束俊之、桐朋学園で指揮を小沢征爾、秋山和慶、尾高忠明各氏に師事。

1989年、オランダで行われた「第2回キルル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」で第2位、1993年ドイツ、ハレで開催された若手指揮者の育成のための「DIRIGENTEN FORUM」で最優秀ファイナリストに入賞。

1989年、アムステルダムでチャイコフスキーの悲愴交響曲を指揮し、ヨーロッパデビュー。これまでにオランダ放送フィル、ドイツ・ハレ国立フィル、プラハ放送響、他を指揮。国内では、東京都響、読売日響、日本フィル、新星日響、ニューフィル千葉などを指揮している。

1995年6月にフィンランド、クオピオで行われた、クオピオ市立管弦楽団とのベートーヴェン特別演奏会(第2、第9交響曲)において、好評を博し、96年同管弦楽団の定期演奏会において武満作品集、シベリウス第2交響曲等を指揮。本年、同管弦楽団のクオピオにおけるフィンランド独立80周年記念演奏会および来日公演(市川、松戸、成田、他)を指揮、交流を深めている。



合唱指揮 村上 正治 (むらかみ まさはる)

君津郡袖ヶ浦町(現・袖ヶ浦市)横田出身の牧師である村上 治氏の長男として、1914年に新潟県村上町で誕生。1935年国立音楽大学作曲部に入学、卒業後は市川小を始め中央国民学校や市川高女、市川一中、市川二中に勤めながら市川文化会や市川混声、市響、市響吹奏楽、ジュニアオケ、行徳混声を結成して指導に当る。県音楽教育研究会や全千葉合唱連盟、県吹奏楽連盟、千葉交響楽団協会、県及び市川市の両芸術文化団体協議会、日本アマチュアオーケストラ連盟、全日本文化団体連合会等をも組織し文化振興に貢献している。市川市教育委員会、千葉県教育委員会、千葉県知事、文化庁長官より各文化功労賞を受賞し、87年秋、勲四等瑞宝賞を受賞。92年4月には第1号の市川市民栄誉賞を受賞した。

現在国立音楽大学の評議員、全国文化団体連合会会長、(法)日本アマチュアオーケストラ連盟副会長。



ソプラノ 岡部 千栄子 (おかべ ちえこ)

名古屋市出身。高校3年より米国へ留学。音楽、語学を専攻。その後、本格的に声楽を志し、ドイツ留学、フランクフルト国立音楽大学にて故アイリーン・オジェー女史、ハートムート・ヘル、白井光子各氏に師事。現在は、リー・ジンウェイ女史に師事。学生時代よりドイツにて、オラトリオ、コンサート活動をし、英国にも遠征。

1988年～92年ヘルシンキ国立歌劇場専属。ストックホルム国立歌劇場、各地の歌劇場に客演。1992年には、エストニア、タリン歌劇場にて「蝶々夫人」のタイトルロール、デビューを飾る。また、サヴォリンナオペラフェスティバル、ドイツ、ツヴィンゲンベルク音楽祭などに出演。ネッロ・サンティ、マウリツィオ・バルバチャーニ、エリ・クラス、他の指揮者と共演。1994年、ニューフィル千葉と初めて共演、以来、日本でもリサイタルを定期的に行う。

今後、1998年イスラエル公演にてエルサレム・シンフォニエッタと共演、ウェーバー「魔弾の射手」エーンヒエン役で、マッティ・サルミネンと共演。99年には、サヴォリンナオペラフェスティバルにてグノー「ファウスト」ジーベル役が予定されている。



アルト 野村 陽子 (のむら ようこ)

東京芸術大学卒業。1975年ベルリン国立音楽大学を首席で卒業。畑中更子、平原寿恵子、田中路子、イルムガルト・ハルトマン・ドレスラーの各氏に師事。75年より88年までベルリン・ドイツ・オペラ劇場の専属歌手として、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、モーツァルト等20演目以上のオペラに出演する一方、ヨーロッパ各地やアメリカの歌劇場に客演。また、オラトリオの分野でもバッハ、モーツァルト、ストラヴィンスキー、バルトークなどベルリン・フィルハーモニー、ベルリン放送管弦楽団と共演する。ベルリン音楽祭、シュベッツィンゲン音楽祭出演。83年10月イノホールにて初のリサイタルを行い好評を得る。同年12月二期会の「ヘンゼルとグレーテル」のヘンゼル役で日本オペラ界にデビュー。翌年藤原歌劇団にて「バタフライ」のスズキを歌い絶賛を博す。87年ベルリン・ドイツ・オペラ日本公演で「ニーベルンゲンの指環」より「ワルキューレ」のジークルーネを歌う。88年9月帰国。89年東京グローブ座にて「ハムレット」の王妃役で好評を博し、90年神戸オリエンタル劇場にて「ハムレット」の再演。また井上道義指揮京都市交響楽団にて「復活」を歌い好評を得る。91年10月には帰国後初のリサイタルを津田ホールにて行い大成功をおさめた。89年度、91年度日本音楽コンクール審査員。現在東京音楽大学専任講師。二期会会員。



テノール ヨルマ・シルヴァステイ JORMA SILVASTI

1959年、フィンランド生まれ。幼い頃より歌を愛し、5歳でTV出演、独唱。16歳よりサヴォリンナ音楽院、シベリウス音楽院を経てドイツへ留学。フランクフルトでカールハイッツ・ヤリウス氏に師事。'82年サヴォリンナオペラ祭「若いオペラ歌手の為のコンクール」に優勝。以降、クレーフェルト歌劇場専属契約を皮切りに、ウィーンフォルクスオーパー専属契約等を経て、'91年よりフィンランド国立歌劇場専属となる。'93年にはウィーン国立歌劇場にベルモンテ役でデビューを飾り、'96年春より再び客演。このほかにヨーロッパの主要都市のオペラに客演する一方コンサート歌手としても定評があり、放送交響楽団との共演、ライブTV、ラジオ放送などでも活躍している。'94年にはリレハンメルのアリンピックコンサートにフィンランドを代表して出演し、好評を博す。

95年は11月ロサンゼルス公演、また12月31日～1月1日はウィーンコンツェルトハウスのニューイヤーコンサート(ベルティーニ指揮「第九」)出演。'97年にはベルリンドイツオペラにデビュー。演目はワーグナー「さまよえるオランダ人」等に出演、好評を博した。



バス イルッカ・ヴィハヴァイネン ILKKA VIHAVAINEN

フィンランド、ヘルシンキ出身。

幼少時代よりフィンランドの少年合唱団カントレス・ミノレスに所属し、バッハの音楽教育を受け、ヨーロッパ遠征旅行に多く参加。

その後、ヘルシンキ・コンセルヴァトワール、シベリウス音大にて本格的に声楽を勉強。オペラ科を卒業後、チューリッヒ歌劇場(スイス)のオペラスタジオ研究生となり、ニコラス・アーノンクール、ネッロ・サンティ、ラルフ・ヴァイカート等の著名指揮者と共演。

1988年よりヘルシンキ国立歌劇場に客演、同劇場1993～1996年専属契約歌手として活躍する。

少年時代よりサヴォリンナ・オペラ祭コーラス団にも参加し、1989年には現代作曲家、バーヴォ・ヘイニネンの異色作「ナイフ」にソリストとして出演。

その他フィンランド及びヨーロッパにて音楽祭、著名オーケストラのソリストとして定期的に出演。特に宗教音楽を得意とする。

1996年秋より、その高貴なバスの響き、また演技力を認められドイツ、デュッセルドルフ歌劇場専属歌手となる。

レパートリーには、「オテロ」ロドヴィーゴ、「ドン・ジョバンニ」マゼット、「ホフマンの物語」クレスペル、「アイダ」王、「トロヴァトーレ」フェルランド等。



オルガン 深井 李々子 (ふかい りりこ)

国立音楽大学オルガン科卒業。吉田實、廣野嗣雄の両氏に師事。1973年より1977年までフランスへ留学。ニース音楽院にて、ルネ・サオルジャン氏に師事し、プルミエ・プリを得て卒業。1976年、ニース市のグランプリを受賞。現在、東京ルーテルセンター教会、玉川大学オルガニスト、東洋英和女学院短期大学非常勤講師を勤めるとともに、各地でのリサイタルやNHK・FM放送等で演奏活動を続けている。日本オルガニスト協会会員、日本オルガン研究会会員。オルガン五人組リーダー。



ピアノ 鈴木 珠美 (すずき あけみ) (市川混声・行徳混声ピアニスト)

国立音楽大学ピアノ科卒業。

故クロイツァー豊子、篠井 寧子、村松 庸子の各氏に師事。第20回家永音楽事務所ピアノ・オーディション合格。サントリー小ホール、津田ホールでのコンサート(同事務所主催)に出演。国立音楽大学同調会千葉県支部コンサート、市川市少年自然の家主催「プラネタリウム・コンサート」、千葉県高等学校教員演奏会、市川オペラ振興会主催「市川オペラコンサート」等に出演。

1997年3月市響・室内楽の午後でモーツァルトピアノ協奏曲のソリストを務める。

またソロ以外にも、市川混声・行徳混声の両団をはじめ、市川オペラ振興会コレペティトゥア、市川市民合唱団など地域の音楽活動にも積極的に参加している。

KUOPIO CITY ORCHESTRA クオピオ市立管弦楽団

クオピオは、フィンランドの湖水地方にあるサヴォ州の州都で、夏期を中心として多くの旅行者が訪れる自然豊かな人口85000人の都市です。フィンランド第8位のこの都市は、ヘルシンキから400kmの位置にあり、教会や博物館とともにクオピオ市立音楽堂を含むミュージックセンターがこのオーケストラの本拠地です。

1800年代後期に存在していた室内楽団（13名）と1894年に設立されたクオピオ楽友協会、この2団体とが、後の1909年に合併され、団員数23名の楽団と成りました。そして1917年のフィンランド独立より1963年まで、国内において活発な演奏活動が展開されました。

1963年、北カルヤラ地方の中心地がクオピオより更に100キロ程北のカヤーニに移動し、それに伴い楽団本拠も移ることになりました。

しかし、その後すぐに、地元音楽愛好家と市との交渉により、新たにプロのオーケストラとして再結成されました。当時の専属奏者は、14名、エキストラを演奏会に応じて雇用していました。そして1976年、正式に州立および市立交響楽団として任命されました。

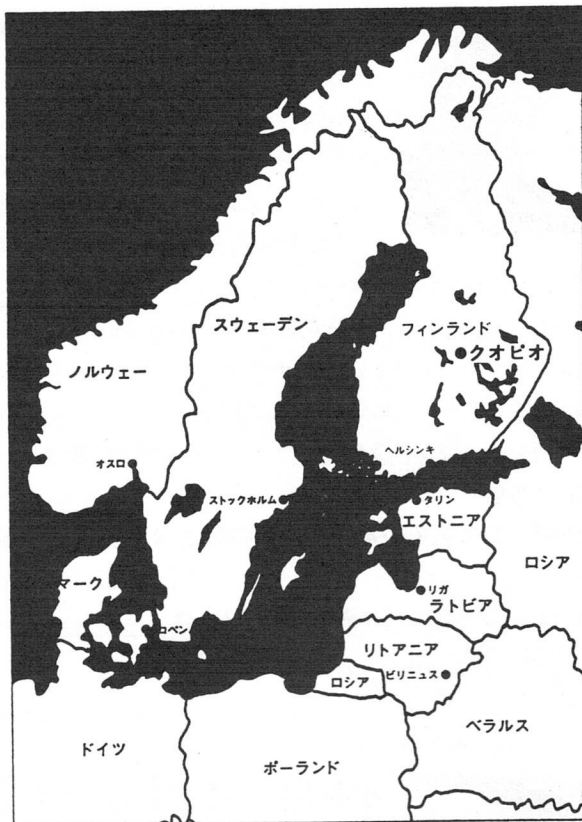
初代常任は、フィンランド人のラウリ・シーメスでした。その後、ニコラス・スミス（米国人）、ペルティ・ペッカネン（フィンランド人）、故ロバート・ブラック（米国人）等が務めました。そして、1995年秋より若手フィンランド人指揮者アッツオ・アルミラが就任しています。

1985年、フィンランド唯一の音響を誇るクオピオ市立音楽堂（1064席）の完成により、オーケストラの本拠地も確立されました。ここでは、毎月の定期演奏会のほかに、月4～5回世界各国のソリストを招く等、幅広いジャンルの演奏会が行われています。

クオピオ市立交響楽団は国内演奏会の数も多く、最近では首都ヘルシンキの著名オーケストラとの交換演奏会等も、活発に行われています。毎年6月下旬に行われるクオピオ国際ダンス祭、そしてクオピオ・オペラ協会主催のオペラ。これらの催しでも、このオーケストラは、重要な役割を果たしています。

今年オペラ祭ではチャイコフスキー作曲「エフゲニ・オネーギン」が行われます。

海外公演についても、北欧3回、そしてバルト海諸国、及びサンクト・ペテルスブルク等、数多く行われています。



FINLANDIA HYMNI

V.A. Koskeniemi

1. Oi, Suomi, katso, sinun päiväs koittaa,
yön uhka karkoitettu on jo pois.
Ja aamun kiuru kirkkaudessa soittaa,
kuin itse taivahan kansi sois.
Yön vallat aamun valkeus jo voittaa,
sun päiväs koitta, oi, synnyinmmaa!
2. Oi, nouse Suomi, nosta korkealle
pääs seppelöima suurten muistojen.
Oi, nouse Suomi, näytit maailmalle,
sä etta karkoitit orjuuden,
ja ettet taipunut sä sorron alle.
On aamus alkanut, synnyinmaa!

フィンランディア (日本語訳)

(フィンランド讃歌)

作詩 V.A.コスケニエミ

1. スオミ (フィンランド) 目をあけてごらん
おまえの夜は明けゆく
夜の脅しを追い払い投げ捨てよう
朝の心踊る晴れやかさに
天が歌となるようにベルの音を響かせよう
夜を転がし落とし 朝を勝ち取った
わが祖国スオミ
おまえの夜は明けゆく
2. スオミおまえはめざめ
遙か高く起き上がる
標に大きな花の輪を飾り
出発しよう
世界の範となるように
「隷属」を追い散らし
重圧に押しひしがれぬ
わが祖国スオミ
おまえの朝は始まっている。

“歓喜に寄す” (日本語訳)

(ベートーヴェンの作詩部分)

おお友よ、この調べではなく もっと楽しく、喜びに満ちた調べを いっしょに唄おうではないか。

(シラーの詩)

歓喜よ、美しい神々の閃光、天の樂園から来た乙女よ、
我々は、燃えあがり、崇高なところ、おまえの聖なところへ 足を踏み入れる。
おまえの魔法の力は 時が容赦なく切り離れたものを 再び結び合わせ、
おまえの軽やかな翼がとどまるところで すべての人々は兄弟となる。

一人の友を真の友とする 大きなまくろみに成功した者は、
やさしい妻を得ることのできた者は、
歓喜の声を合わせよ、
もちろん、この地上で 唯一の魂を自分のものと呼ぶことのできる者も、
そして、それをできなかった者は この集いから、泣く泣く立ち去れ、

すべてのものは自然の乳房から歓喜を飲む、
すべての善、すべての悪は 自然のバラの小径をたどってゆく。

自然は我々に くちづけと、おどろと、死の試練をくりぬけた一人の友を与えた
快楽は虫にも与えられ、そして 光の天使ケルプは神の前に立つ。

壮麗な天界を太陽が飛びぬけていくように悦びあふれ、
勝利に向かう勇士のように喜々として、駆けよ、兄弟よ、おまえたちの道を!

いだき合え 百万の人々よ、
このくちづけを全世界に!
兄弟たちよ、星空のはるか上には 唯一の敬愛する父なる神が住んでいるにちがいない。

君たちは ^{こらべ} 頭をたれ、跪くか、百万の人々よ?
この世の創造主の存在を思うか、 世界よ?
星空のはるか上に彼を求めよ、
数ある星のむこうに彼は住んでいるにちがいない。

(高橋 圓 記)

本日の出演者

市川混声合唱団

ソプラノ	石黒 淳子	岩佐 敦子	大坂 正美	蚊野 侑子	亀尾 真理
	黒木八千代	塚本 恵子	角田美智子	中野 かよ	早野 文子
	前原 敏子	山本 桂子			
アルト	漆原 由美	大塚美千代	小高 松子	高橋 圓	富山 清子
	豊島 好恵	内藤富士子	根津 敏江	服部真知子	
テノール	井関 裕義	遠藤 實	金田 輝夫	篠田 要衛	
ベース	大辻 康允	古山 雄一	鷺尾 純治		

行徳混声合唱団

ソプラノ	阿部都志子	川又 京子	小島こずえ	鈴木 紫磨	谷津 佳子
	辻本 富子	西村 和泉	野田 芳永	箱根 利枝	橋本 晴美
	松本 孝子	村山 典子			
アルト	安藤 照子	石井 淑子	伊藤 和子	稲葉 勝代	遠藤すみ江
	金島 優子	神林 佑子	佐藤 和子	野瀬富美子	藤井 礼子
	見谷 静枝				
テノール	大友 亀男	加藤 芳明	東谷 義敬		
ベース	神田 春彦	佐藤 正義	高田 峰幸	長谷川康啓	山村 晟

合唱団員募集

♪市川混声合唱団、行徳混声合唱団では、初心者、経験者を問わず、団員を募集しています。

混声合唱の楽しみ、オーケストラとの共演の喜びをあなたも体験してみませんか。見学、お問い合わせ大歓迎です。

市川混声合唱団	練習日	毎週木曜日	午後7時～9時
	練習場所	市川公民館 (JR市川駅北口 大門通り入口)	
	問い合わせ	中野かよ	047(376)0433
行徳混声合唱団	練習日	毎週火曜日	午後6時50分～8時50分
	練習場所	行徳公民館 (東西線 行徳駅より徒歩6分)	
	問い合わせ	金島優子	047(358)2906

コール・シュティムメ

ソプラノ	赤松登美子	有馬 敬子	宇都宮和子	菊池 陽子	小林 千絵
	関 光子	野口留美子	藤田 弘子		
アルト	飯島 佳子	及川美智代	小畑 供枝	畑野かん奈	早川 瑞子
	柳井 和美				

津田沼混声合唱団

テノール	海老原幸作	菊田 信雄	鬼頭 昭二	谷田 崇嘉	長島 昇
	三田村 元				
ベース	内田 浩昭	相良裕一郎	佐久間泰宏	高宮 一彦	山中 浩史

「市川・第九」市民合唱団

ソプラノ	井出 章子	宇土 好江	酒井 玄枝	清水 節子	白木 道枝
	古田 陽子				
アルト	宇野 法子	小野百登子	京増 初枝	田崎二三江	仲 玲子
	長沢 瑛子	吉田もと子			
テノール	秋山 卓宏	内田 勉	澤田 弘道	柴田 忠	南 隆夫
ベース	阿部 晃	杉山 博治	田崎 幸雄		

フィルハーモニー合唱団 (フィンランド)

ベース ユッカ・マキ・ルオパ Jukka Maki Luopa

次回演奏会のお知らせ

第264回 市響

「ファミリー交響楽コンサート」

平成9年12月21日(日) 午後2時開演
市川市文化会館大ホール

指揮	金子建志	
演奏	市川交響楽団	
曲目	イペール	交響組曲「寄港地」
	ドリープ	バレエ音楽「コッペリア」より
	スメタナ	交響詩「わが祖国」より「モルダウ」
	シューマン	交響曲第3番「ライン」 (グスタフ・マーラー編曲版)